

## 1 - 2 北海道・東北地方の地殻変動

### Crustal Movement in the Hokkaido and Tohoku Districts

国土地理院

Geographical Survey Institute

厚岸菱形基線に於ける測量結果を第1図に示す。前回測量結果K比べて全辺とも縮みになっているが、測距儀の器差の可能性はある。

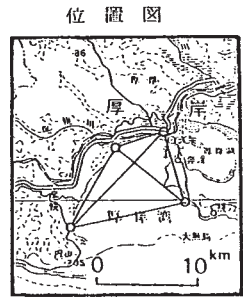
第2図は1968年～1972年の水準測量と1977年～1987年の水準測量とによる北海道全域の網平均計算による上下変動図である。この期間内には1973年根室半島沖地震(M = 7.4)及び1982年浦河沖地震(M = 7.1)が発生している。第2図に見られる根室から釧路にかけての10cmを越える沈降は前者の地震に、えりもから苫小牧にかけての10cmを越える隆起は後者の地震に伴った地殻変動である。

第3図は牡鹿放射基線に於ける測量結果であるが、全辺伸びになっており、第1図同様器差の可能性はある。

#### 参 考 文 献

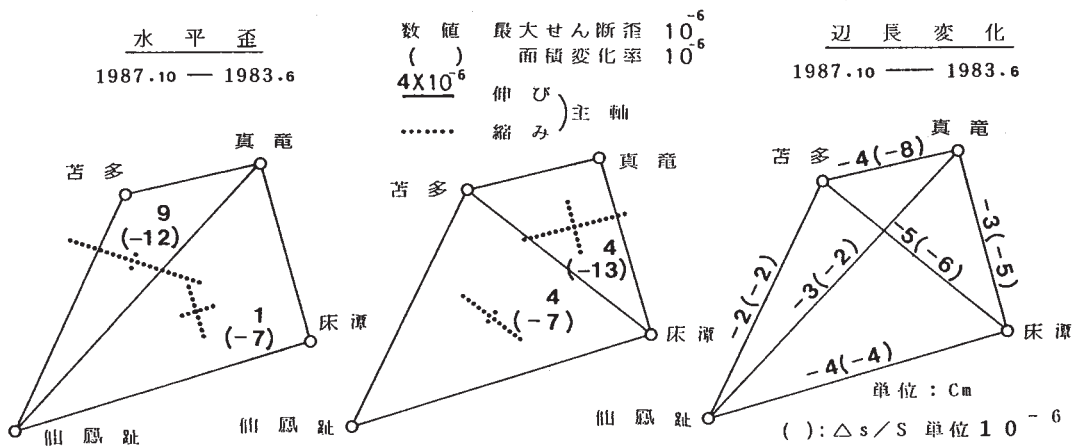
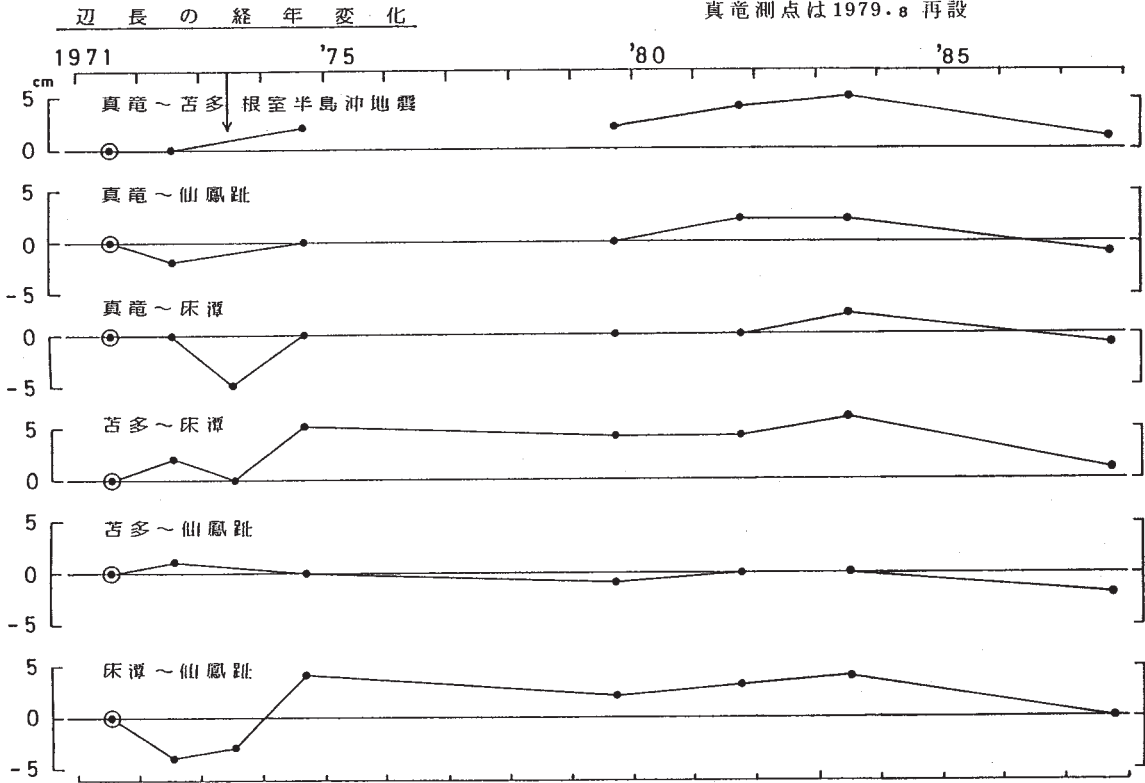
- 1) 国土地理院：北海道東部の水平地殻変動，連絡会報，**10** (1973)，10-11.
- 2) 国土地理院：1973年根室半島沖地震による北海道東部の地殻変動，連絡会報，**11** (1974)，7-13.
- 3) 国土地理院：1982年浦河沖地震に伴う上下変動，連絡会報，**28** (1982)，21-23.

測定年 区 間	I 1971.7	II '72.7	III '73.7	IV '74.8-9	V '79.9	VI '81.9-10	VII '83.6	VIII '87.10
真竜～苦多	5048.33	m .33	m	m .35	5056.48	m .50	m .51	m .47
〃～仙鳳趾	13216.84	.82		.84	13195.14	.16	.16	.13
〃～床潭	6604.63	.63	.58	.63	6554.42	.42	.44	.41
苦多～床潭	8570.94	.96	.94	.99	.98	.98	.00	.95
〃～仙鳳趾	9502.47	.48		.47	.46	.47	.47	.45
床潭～仙鳳趾	11349.99	.95	.96	50.03	.01	.02	.03	.99



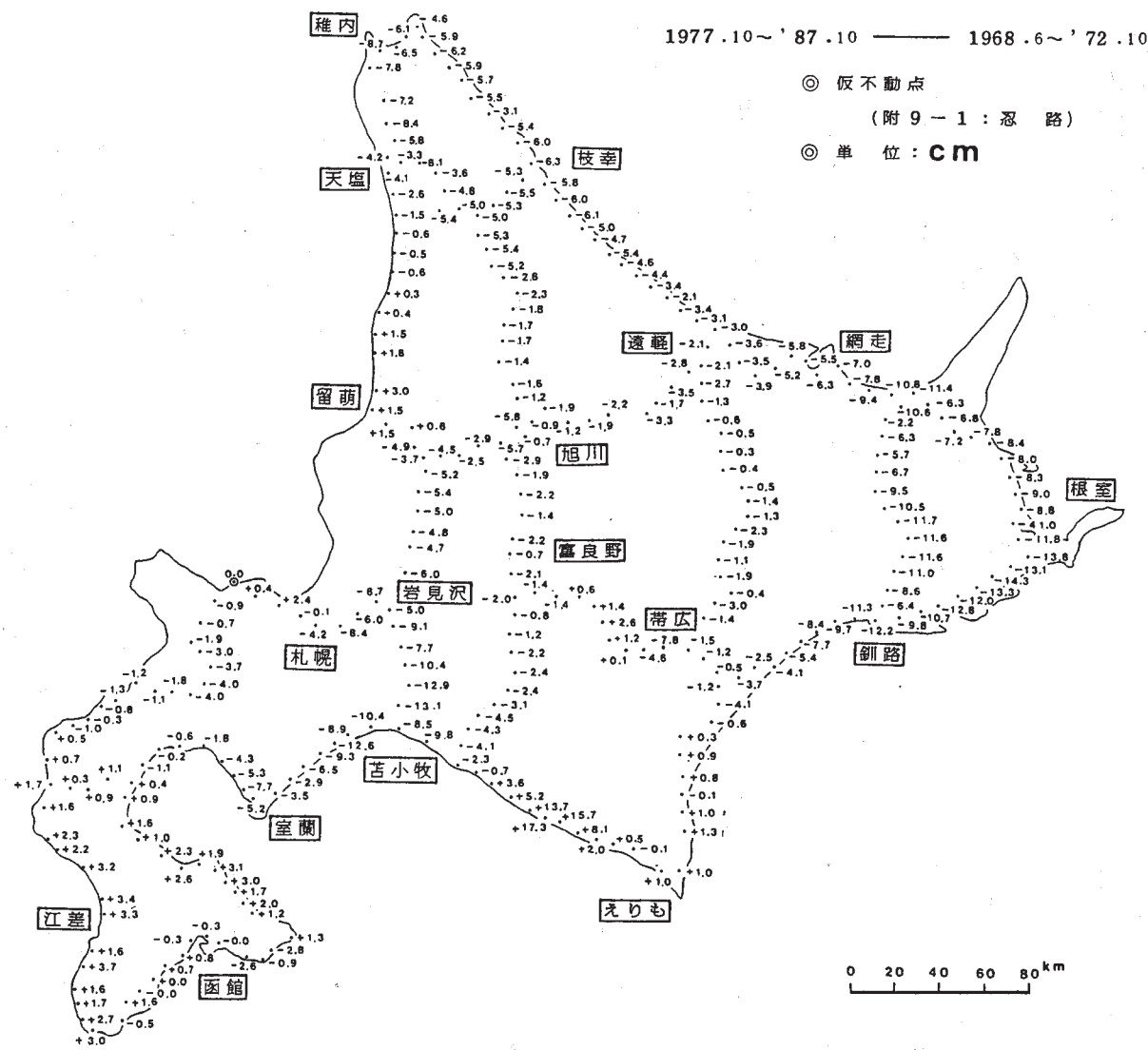
網平均結果による。(1973.7 は実測値)

真竜測点は1979.8再設



第1図 厚岸菱形基線精密変歪測量結果

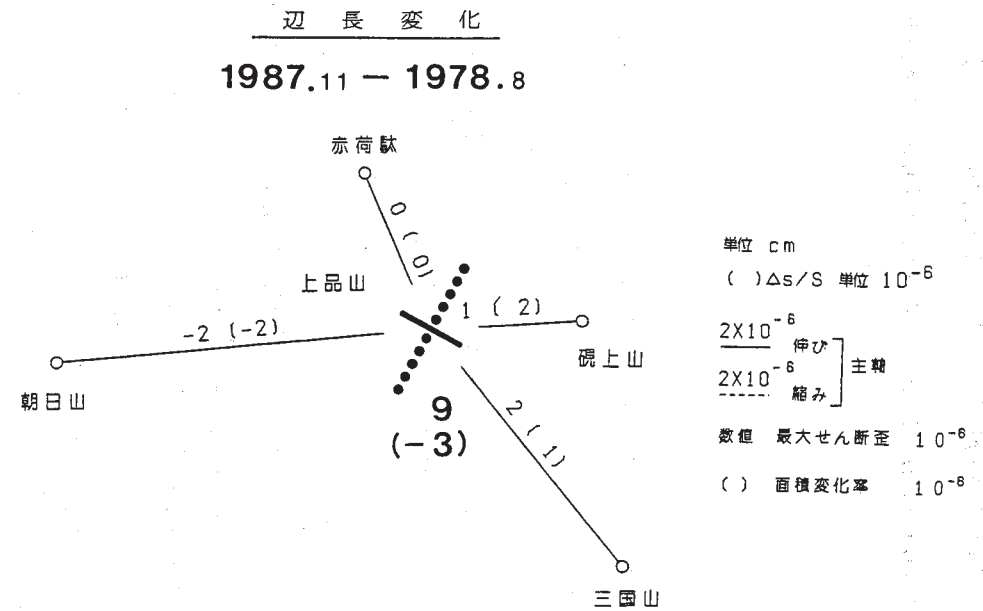
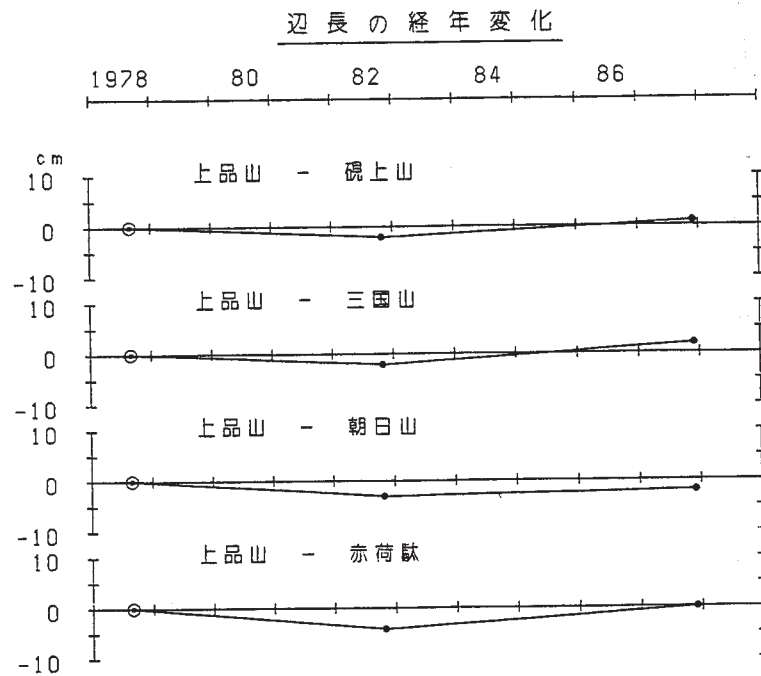
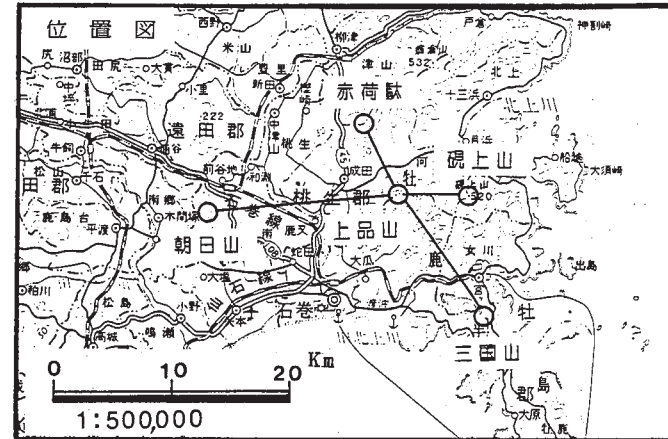
Fig. 1 Results of precise distance measurements of the Akkeshi rhombus base-line net.



第2図 北海道地方の上下変動 (1977年10月~'87年10月 - 1968年6月~'72年10月)

Fig. 2 Vertical crustal movement in the Hokkaido district in the period from 1968 Jun. ~ '72 Oct. to 1977 Oct. ~ '87 Oct.

測定年 区 間	1	2	3	3- 1	3- 2
	1978.08	82.10	87.11		
上品山 — 硯上山	6308.37 <sup>m</sup>	.35 <sup>m</sup>	.38 <sup>m</sup>	cm 1	cm 3
上品山 — 三国山	12688.49	.47	.51	2	4
上品山 — 朝日山	15549.18	.15	.16	-2	1
上品山 — 赤荷駄	7046.42	.38	.42	0	4



第3図 牡鹿放射基線測量結果

Fig. 3 Results of precise distance measurements of the Ojika radial base-line net.